

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成16年9月9日(2004.9.9)

【公開番号】特開2003-183359(P2003-183359A)

【公開日】平成15年7月3日(2003.7.3)

【出願番号】特願2001-390335(P2001-390335)

【国際特許分類第7版】

C 08 G 61/04

G 03 F 7/039

【F I】

C 08 G 61/04

G 03 F 7/039

【手続補正書】

【提出日】平成15年8月27日(2003.8.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

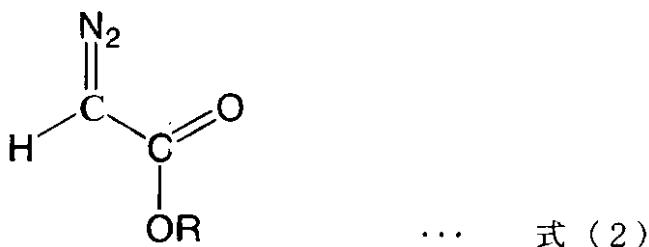
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

下記式(2)で示されるジアゾ酢酸エステル化合物を主成分として含有するモノマーを重合することを特徴とするカルボニルメチレン重合体の製造方法。

【化1】



(式(2)中、Rは、鎖状炭化水素基、又は環状炭化水素基である。)

【請求項2】

少なくとも下記式(1)で示される遷移金属および/または遷移金属化合物と、アミン類とが添加された系内で、重合を行うことを特徴とする請求項1に記載のカルボニルメチレン重合体の製造方法。

L_mM_Xn - - - 式(1)

(式(1)中、Mは3~8族の遷移金属であり；Lは遷移金属に配位する能力のある配位子であり；Xはハロゲンであり；mは0~4を満たす整数であり；nは0~6を満たす整数である。)

【請求項3】

前記式(1)において、Mが8族の遷移金属であることを特徴とする請求項2に記載のカルボニルメチレン重合体の製造方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明者らは、上述した従来技術の問題を解決するために鋭意検討した結果、ジアゾ酢酸エステル化合物を重合することにより、カルボニルメチレン重合体を効率的に合成できることを見出した。すなわち本発明の要旨は、下記式(2)で示されるジアゾ酢酸エステル化合物を主成分として含有するモノマーを重合することを特徴とするカルボニルメチレン重合体の製造方法にある。

【化2】

